【施策４】

つながる人材・仕事づくり

人や仕事の垣根をとり、つながりやすい仕組みをつくる

ＫＰＩ

ＫＰＩ 重要業績評価目標	目標値 2020～2026 累計	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
雇用の創出	10 人	1 人	0 人	2 人	3 人	3 人	3 人
疎開保険加入者数	200 人	109 人	61 人	104 人	131 人	175 人	175 人
おせっかい奨学パッケージ寄付額	5,000 千円	50,413 千円	1,634 千円	1,106 千円	2,445 千円	3,252 千円	4,942 千円
移住者数（有資格者移住施策と仕事づくり）	5 人	2 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人

さまざまな世代が集まれる場づくり（総合計画 No.Ⅳ-4）

まちのコイン活用イベントとして「てごガチャ」を開催。体験で貯めた「てご」でガチャを引くことができ、子どもや大人、外国人まで好評であった。

おせっかい奨学パッケージの推進（総合計画 No.133）

おせっかい奨学生は現在 111 名（前年度比較＋20）の登録があり、順調に増加中。うち 15 名がＵターンしている。

奨学生限定インターンプロジェクト、奨学生交流会、おせっかい川柳、おせっかい協賛企業募集など様々な企画を打ち出しているが、近年、町職員で組織する「おせっかいメンター」と奨学生との関係が希薄傾向にあり、様々な企画を案内しても奨学生の参加者が少ない状況が続いている。町民や町内企業へのおせっかい認知を広げていくための事業を今後も展開していく。特におせっかい協賛企業は 13 社（R7 現在 10 社）と伸びており、町内企業の賛同の輪が広がっている。

おせっかい奨学金の原資となる企業版ふるさと納税は 3 社 500,000 円の実績あり。

疎開保険事業、ふるさと納税の推進（総合計画 No.126）

平成 23 年度に制度化された「疎開保険」は現在、約 150 に利用されている。近年、首都直下型地震や南海トラフ地震への懸念から国民の防災意識が高まっており、本事業への需要も一段と増大している。また、本事業は関係人口を可視化・創出するツールとしても大きな役割を担っており、今後も事業を通じて関係人口の更なる拡大を推進していく。

住居付き有資格者移住施策（総合計画 No.48、50）

智頭病院の医師及び看護師の確保は最も重要な案件の一つ。
研修医や学生の研修受け入れを行っているが、看護師や医師不足は依然として深刻な状況。

スキマ時間、スキマスキルの活用マッチング

令和 3 年度に設立された智頭町複業協同組合は、現在参画企業 17 社、雇用 9 名で運営されており、マルチフォレスター、マルチワーカー派遣や副業人材を活用しながら、地域の担い手不足、ノウハウ不足の解消、新規プロジェクト創出支援を行うことで、智頭町らしい持続可能な成長モデルを推進している。

令和 6 年度から新たな地方創生推進事業として新規創業支援を実施しており、中間支援組織（CHIP s コンソーシアム）を組成し、スタートアップしやすいまちを目指し取組を進めていく。

＜様式1附属＞

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人と地域をつなぐまちのコイン導入事業			所属	企画課	SDGｓ	11.17
事業（細目）名	地方創生推進事業				事業番号	2032	
総合計画 基本理念	Ⅳ　地域や家族のつながりでつくるまちづくり						
総合計画 視点	仲間づくり	事業番号	新		連番	Ⅳ-4	

R7年度（4月記入）

Goal(目標)	R3年度に本導入したまちのコインの利活用を促進する。

Plan(事業概要・計画)

・各種イベントに抱き合わせてまちのコインの利用場所を増やす。

R7年度（3月末に実績見込を記入）

Do(実行)

		R7実績額			2,464,000円	
活動実績を示す指標		単位	R6(実績)	R7(計画)	R7(実績)	対前年比(%)
①	スポット数	件	55	60	55	100%
②	ユーザ数	人	1569	1200	1732	110%
③	イベント回数	回	1	1	1	100%

実施内容

・「てごガチャ」イベントを開催し、まちのコインの会員数増ならびに利用促進を図った。体験回数：91回

R7年度

Check(確認)

評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適応しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

成果・課題

R7度（年度末評価を記入）

評価	D

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止

担当課長評価

評価	D

評価理由：　認知度アップ、活用の拡大には至らず。

R7年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)

R7実施内容の改善及び見直しの上、R8の方針・計画

・令和8年度事業廃止予定

<様式1附属>

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	おせっかい奨学パッケージの推進			所属	企画課	SDGｓ	17
事業（細目）名	おせっかい奨学パッケージ推進事業				事業番号	2086	
総合計画 基本理念	Ⅳ　地域や家族のつながりでつくるまちづくり						
総合計画 視点	③　仲間づくり	事業番号	20		連番	133	

R7年度（4月記入）

Goal(目標)	子どもたちの学びたい気持ちを支援し、町外で学ぶ間もおせっかいでの町、町民とのつながりを続け、子どもたちの町への愛着を育てる。

Plan(事業概要・計画)

・おせっかい協賛企業やおせっかい川柳を募集し、町内外への周知を図る。
・交流会、インターンプロジェクトにより、奨学生と地域がつながる仕組みをつくる。
・メンターが発行する「月刊おせっかい」により顔の見える関係性をつくる。

R7年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)

	R7実績額			5,031,000	
活動実績を示す指標	単位	R6	R7(計画)	R7(実績)	対前年比(%)
①　寄附（企業版ふるさと納税含む）	円	2,300,000	2,800,000	2,550,000	122%
②　おせっかい協賛企業	社	8	8	9	100%
③　月刊おせっかい発行	号	46	46	50	100%

実施内容

・企業版ふるさと納税2社　　・おせっかい川柳7首応募
・おせっかい協賛企業5社　　・月刊おせっかい～50号
・都市部インターンプロジェクト（１名参加）　・おせっかい交流会（中止）

R7年度（11月末に記入）

Check(確認)

評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適応しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

成果・課題

・インターン参加者あり
・信用金庫との連携説明会で21家庭が参加。（後日2家庭が問合せ）
・都市部企業（東京）への企業版ふるさと納税や本パッケージのPR。

R７年度（11月末に記入）

評価	A

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止

担当課長評価

評価	C

評価理由：	奨学金制度利用はさておき、本来の目的が達成できているかは疑問である。

R7年度（11月末に記入）

Action(改善)

R7実施内容の改善及び見直しの上、R8の方針・計画

・奨学生や保護者との関係性の構築
・交流会やインターンプロジェクトの開催

＜様式1附属＞

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	疎開保険事業			所属	企画課	SDGｓ	17
事業（細目）名	疎開保険事業				事業番号	1951	
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり					
	視点	仲間づくり	事業番号	6	連番	126	

R7年度（4月記入）

Goal(目標)	加入者へ町の特産品を送ることで智頭町について興味を持ってもらい、 関係人口の創出を図るとともに町内生産者の収入向上に繋げ地域活性化を目指す。

Plan(事業概要・計画)

・疎開保険加入者への特産品送付
・疎開保険のPR活動の実施（疎開保険体験ツアー）
・疎開保険NFTの発行

R7年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)

		R7実績額				2,339,276円
活動実績を示す指標		単位	R6	R7(計画)	R7(実績)	対前年比(%)
①	加入口数（3月31日時点）	口	88	97	94	107%
②	特産品送付	口	75	97	94	125%
③	疎開保険NFT	口	4	5	5	125%

実施内容

有事の際は疎開保険加入者へ避難先を案内・提供する
疎開保険ツアー・特産品送付業務をとおして町を知ってもらい、関係人口増へ繋げる
加入者が町を訪れた際は観光アクティビティ助成の特典を提供する

R7年度（11月末に記入）

Check(確認)

評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適応しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

成果・課題

R6年度と比較し加入者が増えた。
森林セラピーや百人委員会といった他事業にも興味をもつ加入者がおり、関係人口増加に貢献できている
ツアー事業・特産品送付事業の委託において担当者の工数が多い（当日対応や野菜とりまとめ・詰め作業等）

R7年度（11月末に記入）

評価	C

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止

担当課長評価

評価	C

評価理由：一定の加入者は確保しつつも、実際の疎開を想定した準備に不安あり。７年度も検証できず。

R7年度（11月末に記入）

Action(改善)

R7実施内容の改善及び見直しの上、R8の方針・計画

疎開保険ツアーにおいては担当者の当日対応を極力削減する
R7は民泊助成の利用者が多く、予算限度額に迫っているため、R8は施設利用料を増額
NFTでの拡販については、NFTプラットフォーム停止予定のためR8は計画なし

・Youtube広告の出展を検討

＜様式1附属＞

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	看護師確保対策の強化			所属	智頭病院	SDGｓ	
事業（細目）名	看護師奨学金制度				事業番号		
総合計画	基本理念	安全安心に暮らせる健康長寿なくらし					
	視点	健康	事業番号	15	連番	48	

R7年度（4月記入）

Goal(目標)	奨学金活用者の看護師免許取得や入職に結びつける。
Plan(事業概要・計画)	

看護学校等在学者への新規奨学金利用の呼びかけ。

R7年度（年度末に実績見込を記入）

Do(実行)		R7実績額			600,000円	
活動実績を示す指標		単位	R6	R7(計画)	R7(実績)	対前年比(%)
①	新規奨学金受給者	人	0	3	1	
②	継続奨学金受給者	人	0	2	0	
③	智頭病院就業者	人	0	1	0	

実施内容

看護師養成機関に対しパンフレットを配布。
高等学校訪問による制度紹介。

R7年度（年度末に実績のチェックを記入）

Check(確認)

評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適応しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

成果・課題

学生の利用が１件あり、令和８年度に就業予定。

R7年度（年度末に評価を記入）

評価	B

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止

担当課長評価

評価	B

評価理由： 資格取得や新規入職に寄与するため、引き続き実施する。

R7年度（年度末に改善方針を記入）

Action(改善)

R7実施内容の改善及び見直しの上、R8の方針・計画

看護学校在学生への奨学金利用の呼びかけと、東部の高等学校への奨学金制度のＰＲにより新規利用を募る。
看護学校在学生へのPRのため、採用募集要項の配布とともに奨学金制度の紹介を行う。

<様式1附属>

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	医師確保対策の強化			所属	智頭病院	SDGｓ	
事業（細目）名					事業番号		
総合計画	基本理念	安全安心に暮らせる健康長寿なくらし					
	視点	健康	事業番号	17	連番	50	

R7年度（4月記入）

Goal(目標)	病院事業継続のため医師確保を図る。
Plan(事業概要・計画)	

鳥取県・鳥取大学、その他関係機関への医師派遣要請
院内保育所の整備、医師住宅の確保
研修医、実習生への広報

R7年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)		R7実績額		645,805,000円		
活動実績を示す指標		単位	R6	R7(計画)	R7(実績)	対前年比(%)
①	研修医の受入	人	5	8	7	140%
②	学生の受入	人	2	9	13	650%
③						

実施内容

研修医の受入時に智頭病院と智頭町での取組等をＰＲすることが出来た。

R7年度（11月末に記入）

Check(確認)

評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適応しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

成果・課題

県派遣医師については、一定数を確保することは出来ている。
年度中途で医師の減員が生じた場合の確保策が必要。

R7年度（11月末に記入）

評価	B

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止

担当課長評価

評価	B

評価理由： さらなる働きかけが必要。

R7年度（11月末に記入）

Action(改善)

R7実施内容の改善及び見直しの上、R8の方針・計画

中堅医師確保のための基幹病院との連携。